科目ナンバリング	U-LAS04 10001 LJ47						
授業科目名 <英訳>	教育学Ⅰ Pedagogy I			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 久保田　健一郎		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	教育・心理・社会(基礎)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期	曜時限	木3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

本授業は、学校教育を軸として、近代以降の日本の教育の概観、学校教育を支える思想やその歴史、現代の教育の諸問題を学んでいく。その際に教育人間学のアプローチを採用する。教育人間学とは、教育に関して自明に思われていることを、その根底から疑って考察するものである。こうしたアプローチによって、教育に関する事象をより深く理解することが可能になる。

[到達目標]

・日本の学校教育についての歴史と現状を理解する。
・学校教育を支える思想、歴史を理解する。
・学校教育に関する現代的諸問題とその背景について理解する。

[授業計画と内容]

基本的に以下の計画に従って授業を進めるが、講義の進行具合によって、講義回数が異なることがある。

１．教育とは何か
２．日本教育小史①　－前近代から近代へ－
３．日本教育小史②　－ポストモダンにおける教育－
４．教育必要性について①　野生児の事例の紹介
５．教育必要性について②　野生児の事例の考察
６．近代教育の思想
７．子ども観の歴史とこれから
８．子どもたちの力学①　－スクールカーストの事例から－
９．子どもたちの力学②　－スクールカーストの考察－
１０．ゆとり教育の理念と実際
１１．学力とは何か
１２．乳幼児の教育
１３．現代の教師
１４．新自由主義と教育・諸外国の教育の動向
１５．フィードバック（フィードバック方法は別途連絡します）

授業回数はフィードバックを含め全15回とする

[履修要件]

特になし

教育学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

教育学Ⅰ(2)

[成績評価の方法・観点]

平常点（50点）と期末レポート（50点）で評価します。平常点は課題提出と授業への参加度に応じて評価します。期末レポートは、到達目標の達成度に基づき評価します。
レポート提出のみで単位が出る授業ではないことを理解した上で、受講して下さい。

[教科書]

PandAに授業資料を提示します。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

日頃から教育のみならず、幅広く社会問題に興味を持つことが最大の予習です。復習は紹介した参考文献などから、各自深めていってください。

[その他（オフィスアワー等）]

授業内容に関心がある方のみ受講して下さい。例年、履修者が多く、抽選になりやすい授業ですので、単位取得のみに関心がある学生の受講はご遠慮ください。
授業方法に関しては、講義が中心になりますが、映画鑑賞、グループワーク、小レポートを織り交ぜた授業になります。

[主要授業科目（学部・学科名）]